



水室神社の拝殿 天理市で



水室神社 (天理市)



水室神社(天理市)は水の神さまを祭る珍しい神

仁徳天皇の異母兄弟の額

社として、親しまれており、鬱蒼とした木立に覆われ夏でもヒンヤリとするような杜に鎮座しています。他の水室神社と区別して都祁水室神社と呼ばれることもあります。

「日本書紀」によると、後毎年献上することになったとされています。そ

現在、1998年に地元の有志が復元した茅葺の

田大中彦皇子がこの地の後、414(允恭天皇)年に、水室神社が創られた時、小屋のようなものを見つけ、それが氷室であり、冬に氷を納め、夏に取り出して酒に浸して飲むとおいしいということでした。そこでその氷を持ち帰り、天皇に献上すると大変喜ばれ、以

現在、1998年に地の元有志が復元した茅葺の

水室に毎年2月、約3トンの氷を搬入し、7月に溶けずに残った氷の重さを計るイベント「福住氷まつり」が行われています。その重さは平均744.4ト(24.8%)で2000年と02年の2.1トが最高で、最低は16年の13.6トでした。近年は残量が減少しており、24年は243トしか残りませんでした。

今年は何キロ？夏の風物詩

(奈良まほろばソムリエの会理事 柏尾信尚)

(住所) 天理市福住町184-1
(祭神) 鬮(うぐいす)稲置(いなぎ)大山(おほやま)主命(ぬしのみこと)、大鷦(おほささぎ)鷯(ささぎ)命(のみこと)、額田(ぬかた)大中彦(おほなかつひこ)命(のみこと)
(交通) JR・近鉄天理駅から奈良交通バスで「国道福住バス」

停 下車徒歩約10分
(拝観) 境内自由
(駐車場) 有(無料)
(電話) 0743-69-2971